

宇佐市議会



小学校紹介シリーズ



一輪車に励む子どもたち

宇佐市立四日市北小学校(児童数348名)

四日市北小学校は、門前町・宿場町・陣屋町として栄え、400年以上の歴史を有する四日市に位置します。学校は明治5年に設立され、明治7年に四日市小学校と呼ばれるようになりました。更に、昭和60年には、児童数の増加により南北二つの学校に分かれ、新しく四日市北小学校として開校されました。現在、児童数は348名で「あいさつ・遊びでかたく繋がり、学び合いのある子の育成」の学校教育目標のもと勉学に励んでいます。写真は、「遊び」の取組の一環で、今年度竹馬の会(父親部会)の皆さんが創り上げた一輪車コースで一輪車に励む子どもたちの様子です。



ファミリー参観日で神楽について学習する1年生

宇佐市立四日市南小学校(児童数284名)

四日市南小学校は、開校28年目の宇佐市でいちばん新しい学校です。子どもたちは、広く、緑いっぱいの運動場で、のびのびと学校生活を送っています。

毎朝の児童会による校門でのあいさつ運動や、学年ごとにテーマを決めて、おりがみやなわとび、百人一首、大なわ、一輪車、けん玉など、年間を通した「学年遊び」にも取り組んでいます。

毎年11月に行われるファミリー参観日では、「出前講座」を開き、お父さんから仕事のお話を、地域の方から四日市の歴史や文化財についてのお話を聞いて、働くことの大切さや地域のよさを学んでいます。

10月臨時会

・平成24年度一般会計補正予算(第4号)を可決

12月定例会

・平成23年度一般会計・特別会計歳入歳出決算を認定
・平成24年度一般会計・特別会計の補正予算案を可決

目次

・新年ごあいさつ、議員より一言	… P.2～3
・議決結果一覧	… P.4
・一般質問	… P.5～11
・市民の声、編集後記	… P.12

新年のごあいさつ



議長
衛藤 博幸

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年3月定例会から本会議の模様を生中継と録画でのインターネット配信を開始し、採決における各議員の表決結果を議会広報で表示するなど、より開かれた議会改革に取り組んでいるところではあります。

市議会は、二代表制のもと、市長、他の執行機関との立場や権能の違いを踏まえ、常に緊張ある関係を保ちながら、市民の皆様の声を市政に反映させ、福祉向上、市政進展に寄与していかなければなりません。

市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、皆様のご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



副議長
斉藤 文博

平成25年の新春を迎え、一言ご挨拶申し上げます。昨年末の総選挙では、民主党から自公政権へ復帰しました。国民の期待に応える政治をぜひ実

現してもらいたいものです。中でも気になったのは、投票率が極端に低かったことです。市民の政治離れにストッパーをかけることも議会の重要な役割と考えています。これからも議会の改革・活性化に取り組んでいきます。私自身も「常に生活者の立場」をモットーに頑張ります。皆さんが負託された議員を含め、議会全体にも目をむけて下さい。そのことが、よりよい「宇佐市」をつくる第一歩と考えています。本年も市民の皆様のご繁栄とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

議員より一言



後藤 竜也

責任の無い美しい言葉や理想を語るのではなく、目の前のことに対処しつつも、次世代のことまで考えた上で、責任ある提言をし、行動に移して参りたいと思っております。本年も宜しくお願い致します。



河野 睦夫

あけましておめでとうございます。みなさまにとって、すばらしい年となりますよう心よりご祈念いたします。教育・福祉・子育て支援等の充実に向け努力してまいります。本年もよろしくお願いいたします。



広崎 譲二

市民の皆様には、新たな抱負を胸に新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。日ごろから、議員活動に対する暖かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。皆様方の今後の益々のご健勝とご多幸を祈念いたします。



衛藤 義弘

2013年の輝かしい年、あけましておめでとうございます。1年8ヶ月間感謝の思いで働いてまいりました。「上善は水の如し」老子のことばです。今後も謙虚な生き方で、大衆のために全力で取り組んでいきます。



河野 康臣

何かと世知辛い世の中。「佛心とは、大慈悲是なり」とは観無量寿経という經典にある言葉です。大いなる宇宙の法則によって生かされていく私たち。「寛容と忍耐」を本年の目標にしたいと思います。



井本 裕明

新年、おめでとうございます。皆様おそろいでおめでたいよき新年をお迎えのことと存じます。本年は景観整備事業に全力で取り組

みますので、皆様方のご指導、ご協力をお願い申し上げます。



辛島 光司

新春のお喜びを申し上げます。「私たちの意識や行動で、故郷が変われば、日本が変わる。」との政治信念を忘れることなく、雨にもマケズ、風にもマケズ、前へ前へと今年も頑張りますので、ご指導の程、宜しくお願いします。



今石 靖代

「平和・民主主義・生きる権利」ということばが、改めて大切な意味をもつ時代になりました。先人たちの築いた宝物を、後退させることがないように、日々努力します。ご指導をよろしく願います。



中島 孝行

新年のお慶びを申し上げます。行政と議会は双方、協調と牽制で自治をつくる責任を共有しています。議員に求められる住民の意識をくみ上げ、今年も市政向上に熱意を持って頑張ります。





木下 一夫

迎春の劈頭にさいし、皆さまの栄光を御祝詞申し上げます。故事来歴に「一陽来復」の教えあり。震災から二回目の春を迎え、朝な夕な手をあわせ、本年も皆さまの代弁者として愚直に活動します。ご指導ください。



加来 栄一

明けましておめでとうございます。輝かしい新春を迎えまして皆様方のご健勝を心からご祈念いたします。禅の言葉に「脚下照顧」と有ります。足もとを見つめよと言う意味です。基本を大事に市政に精進して行きます。



新開 洋一

本年が皆様方お一人一人にとりまして、より一層良い年でありますようお祈りいたします。私も皆様方から助言、提言、苦言をいただきながら、脱皮をし宇佐市の発展に頑張ります。



林 寛

迎春、今年の私の思いを述べます。「身を捨ててこそ、浮かぶ瀬もあれ」皆様の懷に飛び込み、捨て身の覚悟で、議員としての懸命な活動を致す所存です。最も議員らしくない議員を目指し、頑張ります。



用松 律夫

年頭にあたり、日ごろのご支援、ご指導に厚く御礼を申し上げます。昨年末に、超タカ派の「危機拡大内閣」が発足し、平和と民主主義や生活の破壊が懸念される中、市民奉仕を貫き、がんばります。



大隈 尚人

新春のお慶び申し上げます。勇気・信念で、市民のためになる、福祉・教育・環境・産業・スポーツの充実に向け取り組んで行く所存です。皆様にとって幸多き年になるようにお祈りいたします。本年もよろしくお願い申し上げます。



衛藤 正明

今年も、市民皆様方の声を、行政に反映させる事が責務と考えています。議会の使命を果し、日々増す高齢化に伴うあらゆる過疎対策など、市政発展のため頑張ります。



宮丸 龍美

新春のお慶びを申し上げます。宇佐市に住んで良かったと思う様な「定住日本一」を目指し、市民の皆様と頑張ります。本年もよろしくご指導を。



佐田 則昭

新春のお慶びを申し上げます。昨年末に政権が変わりました。国政の変化を注視し、経済再生等の様々な問題に市民の皆様のご意見を聞きながら、市政発展の為に努力して参ります。皆様のご多幸をご祈念申し上げます。



釜口 孝

迎春、新しい年の始まりです。今年こそは「巳」のある年でありましよう。安全が強く問われている今日、格差社会は存在し、少子・高齢・過疎・人口減少という厳しい現実を直視し、これからも「安心社会」を求めます。



永松 郁

巳年は性質、陽気が立ち上がり、天まで届き最盛期へ向うと言われています。宇佐市も巳年に、肖かれる様頑張つてまいります。本年もよろしくお願い致します。



浜永 義機

年末に衆議院選挙が終わりしました。リーダーとはその時代が要求するものに応える人といわれていますが、今度のリーダーは。私は「至誠通天」を座右の銘とし自身自身を見つめ直し頑張りますので本年も宜しくお願い致します。



相良 公治

新春のお慶び申し上げます。私共日新会は、日々新たに挑戦していく会です。本年は第一次産業の発展に取り組み予算の拡大、後継者の育成等様々な問題「例えば豊前海干潟のヘドロの除去」など執行と協議しながら満足度日本一を目指します。



久保 繁樹

「感謝と思いやり」自分自身に言い聞かせつつ色紙、寄せ書きに書く言葉である。本年が市民の皆様にとって感謝と思いやりで満ちた良い年でありましように願いつつ、年頭のごあいさついたします。



徳田 哲

「格物致知」物事の道理、原理、原則を極めて、学問や知識をより深めると云う意味である。今年は矜持の持てる宇佐人を育てるべく、道徳教育について市長教育委員会等と議論を深めたい。



平成24年12月 第6回定例会 議決結果一覧表

○議 案

番 号	件 名	付託委員会	結 果
議第104号	平成24年度宇佐市一般会計補正予算（第6号）	各常任委員会	可決
議第105号	平成24年度宇佐市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	文教福祉	〃
議第106号	平成24年度宇佐市介護保険特別会計補正予算（第2号）	文教福祉	〃
議第107号	平成24年度宇佐市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	建設環境	〃
議第108号	平成24年度宇佐市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	建設環境	〃
議第109号	平成24年度宇佐市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	建設環境	〃
議第110号	平成24年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	建設環境	〃
議第111号	平成24年度宇佐市介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	文教福祉	〃
議第112号	宇佐市支所及び出張所設置条例の一部改正について	総 務	〃
議第113号	宇佐市職員の職務に専念する義務の特例に関する条例の一部改正について	文教福祉	〃
議第114号	宇佐市税条例の一部改正について	総 務	〃
議第115号	宇佐市手数料条例の一部改正について	建設環境	〃
議第116号	宇佐市公民館条例の一部改正について	文教福祉	〃
議第117号	宇佐市山村開発センター条例の一部改正について	総 務	〃
議第118号	宇佐市墓地、埋葬等に関する法律施行条例の一部改正について	建設環境	〃
議第119号	市道路線の認定について	建設環境	〃
議第120号	市有財産の無償譲渡について	建設環境	〃
議第121号	専決処分の承認を求めることについて〔平成24年度宇佐市一般会計補正予算（第5号）〕	総 務	承認
議第122号	宇佐市固定資産評価審査委員会委員の選任について	省 略	同意

○議員提出議案

番 号	件 名	付託委員会	結 果
議員提出議案第2号	宇佐市議会委員会条例の一部改正について	省 略	可決
議員提出議案第3号	宇佐市議会会議規則の一部改正について	〃	〃

○請 願

番 号	件 名	付託委員会	結 果
請願第8号	高齢者肺炎球菌ワクチンへの公費助成を求める請願書	文教福祉	採 択
請願第9号	競技場グラウンドの人工芝整備に関する請願書	文教福祉	継続審査

○閉会中継続審査の議案審議結果

番 号	件 名	付託委員会	結 果
議第92号	平成23年度宇佐市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定
議第93号	平成23年度宇佐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	〃
議第94号	平成23年度宇佐市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	〃
議第95号	平成23年度宇佐市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	建設環境	〃
議第96号	平成23年度宇佐市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	建設環境	〃
議第97号	平成23年度宇佐市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	建設環境	〃
議第98号	平成23年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	建設環境	〃
議第99号	平成23年度宇佐市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	〃
議第100号	平成23年度宇佐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	〃

○閉会中継続審査の請願審議結果

番 号	件 名	付託委員会	結 果
請願第7号	オスプレイの配備及び低空飛行訓練に反対し国へその撤回を求める意見書に関する請願書	総 務	不採択

賛否の分かれた議案の採決結果

議案番号	件 名	後藤電也	河野睦夫	広崎讓二	衛藤義弘	河野康臣	井本裕明	辛島光司	今石靖代	中島孝行	木下一夫	加来栄一	新開洋一	林 寛	用松律夫	大隈尚人	衛藤正明	宮丸龍美	佐田則昭	釜口 孝	永松 郁	斉藤文博	浜永義機	相良公治	久保繁樹	徳田 哲	衛藤博幸
92	平成23年度宇佐市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93	平成23年度宇佐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
94	平成23年度宇佐市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	△	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
100	平成23年度宇佐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	△	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○

賛成=○ 反対=× 退席=△

市政一般に 対する質問

12月定例会では3日間にわたって、12名の議員が質問を行いました。



河野康臣 (市民クラブ)

宇佐市沿岸漁業の再生・振興を

問① 通学路の安全確保を。

(1) 四北小前通学路の安全確保を。

答 学校への交通安全教育の充実や警察署への交通指導も願います。



四日市北小学校前通学路

問② 宇佐海軍航空隊について。

(1) 史実の確認について。

答 昭和14年艦上攻撃機及び艦上爆撃機の操縦員を養成する基地として開隊した。昭和20年に実戦部隊に。

(2) 配備された軍用機の種類と機体数は。

答 艦爆・艦攻が主であり、昭和20年5月以降は、ゼロ戦も配備。

問③ 沿岸部の漁業振興について。

(1) 漁業再生3年計画の効果の検証はできているか。

答 漁場耕運や母貝・種苗放流に取り組んだ。成果は県漁協宇佐支店を中心に。

(2) 漁業者の意識や生活実態把握はできているか。

答 九州北部豪雨によって操業できなかったり、温暖化の影響などで漁獲高が減っている。燃料高騰や価格低迷で、大変厳しい状況と認識。

(3) 3年再生計画最終年度の結果を、どう今後につなげるか。

答 今後の計画策定及び漁業のあり方については、現場の声を大切にします。

問④ 防災について。

(1) 自主防災組織の現状と組織率は。

答 平成24年4月現在で、自治区等で165組織、92.2%である。

(2) 災害時、要援護者への対応はこの部課が行うか。

答 危機管理課が行う。

問⑤ 認知症対策について。

(1) 年代別出現率は。

答 本市には、2,010人の方が発症と推計。

(2) 予防対策は。

答 認知症予防教室を普及する。

問⑥ 喀痰吸引介護等について。

(1) 県内での研修機関は。

答 県登録機関が2ヶ所。他に委託機関が3ヶ所ある。

(2) 研修促進策は。

答 市内で登録を希望する事業所があれば、対応していく。



今石靖代 (日本共産党)

「児童館」 26年度実施を目標に準備

問① 児童館の早期実施について。
(1) 子育て支援の中核となる「児童館」について、後期計画までの予定はあと2年だが、実施の時期はいつか。

答 現在、既存の公共施設を活用して、耐震診断及び補強計画並びに小型児童館としての機能性について検討している。26年度実施を目標に準備をしている。

(2) 9月に行った子育てアンケートの結果はどうか。約1000世帯の子育て世代から回収があったが。

答 公園や児童館など、子どもが遊べる場の整備を求める声が半数程度あり、親の意見でも整備を求める声が大きかった。

問② 医療費の減免制度の拡充を。

(1) 「失業し、仕事をさがしているが見つかからない。病院に行くにも窓口負担3割が払えない」「年金が少なく、癌手術の治療費が高額で、十分な医療が受けれない」など、生活困窮が原因で、病院の医療費が払えず通院を控えている深刻な状況がある。国保法第44条の規定では「特別な理由で支払うことが困難な場合は一部負担金の減額、免除及び徴収猶予ができる」とされている。実施はどうか。

答 制度実施から6年以上の間、適応はない。最近、県からも提案があ



り、今後要綱の見直しについても県や他市と協議をしていきたい。

(2) 恒常的な困窮者にも適応できるように、また、税の完納証明の申請条件など見直しを求めるがどうか。

答 この点についても、県などと協議をしたい。

問③ 住江住宅（前、雇用促進住宅）の家賃収入が増えている。老朽化が大きな問題となっている市営住宅全体の修繕費や、公園遊具の点検整備に使ってはどうか。また、悪臭のする下水があるが改善計画はどうなっているか。

答 住江住宅は、他の市営とは目的も異なり、事業計画書に基づき運営するように定められているので、他の市営の修繕費等に充当することはできない。貴船住宅の下水の改善は、来年度実施できるよう予算要求したい。

問④ 就学援助を受ける子どもが年々増え、クラスの16、17%にもなっている。国が対象にしているクラブ活動費はいつから実施するのか。

答 他市や国の動向をみて決めたい。



用松律夫（日本共産党）

TPPに参加すれば、
麦は全減、米は9割が打撃

問① 宇佐の米は9割打撃を受け、麦は全減するTPP参加に改めて反対を。

答 拙速な参加表明を慎むよう要望している。

問② 若者定住促進について。

(1) 相生市のように給食費の無料化を。

答 給食法の関係や財源で困難だ。

(2) 相生市は年間予算の1%ということとで実施している。当市は予算の0.7%で可能だ。市長の英断を。

答 市長会で無料化の話はないことはない。子ども手当を充てることを要望している。

(3) 18才までの医療費の無料化を。

答 県の財源措置ができれば検討したい。

問③ 雇用の拡大につながる住宅リ

フォーム助成制度の拡充を。

答 今後の課題としたい。

問④ 差別解消に逆行する同和行政の終結について。

(1) 差別が解消した社会とは、
①居住、生活環境、職業、教育などで旧同和地区周辺地域との格差が是正されていること②部落問題に対する非科学的な認識や偏見に基づく言動がその地域では受け入れられない状態が作り出されること③旧同和地区内外の垣根が取り払われ、地域社会で自由な社会的交流がすすむことではないか。この私の考えは間違いないか。

答 間違っているとは思わない。

(2) 市が今、実施しているアンケートは、差別を助長し拡大するものであり、中止すべきだが。

答 中止する考えはない。

問⑤ キリウの産業廃棄物は保管基準違反ではないか。

答 12月中旬に改善策を協議する。

問⑥ 通学路の早急な改修を。

答 特に北馬城小の路側帯の線引きを。
ガードレールやカーブミラーなどは25年度までに、舗装などは5年以内を目途にやる。

問⑦ 市の職員の接遇改善を。

答 指摘された点はご本人にもお詫び申し上げた。市民はお客様という態度で十分気をつける。

問⑧ 市営住宅の階段で手すりのない階段の解消を。

答 今年度中に設置する。



広崎譲二（未来の風）

市職員の超過勤務の有り方は

問① 大型店舗の進出が著しい辛島上田、葛原地区の狭い市道の需要が高まっている。地元住民からは、交通事故等を懸念する声が聞かれる。この問題と大きな関係性を持つ都市



葛原地区の狭い市道

農業用水路の確保について



大隈尚人（市民クラブ）

計画道路、上田～四日市線の今後の計画は。

答 都市計画道路上田～四日市線は、四日市の中心市街地と宮庁街を結ぶ路線で、国道10号の渋滞緩和や中心市街地の街路として計画された道路である。まず、来年度、交通量等の基礎的な調査を行った上、出来るだけ早く整備方針を固めたい。

問② 先般、他県において2000時間を超える超過勤務の実態が報告されたが、当市においても所属する課又は、個人において超過勤務に格差が生じていると聞き及んでいる。その実態は。

答 平成23年度決算額で、1億6,400万円です。また個人では、平成23年度実績で1,037時間、312万円の手当が最高である。

問① 院内分館も本所の図書館と同じ体制にすべきではないか。

答 本館と同じ体制にする。

問② 商工会や商工会議所での買い物は、地元商店で行っていると思うが、インターネット市場の方が早い・安いということで購入しているのならば、改めるべきではないか。

答 インターネットでは全体の0.8%、金額にして116万程度の購入がある。今後は、改めていく。

問③ 鳥獣対策として。

答 (1) 捕獲奨励金の増額をお願いしたい。

近々、猟友会の班編成がある。



宇佐市民図書館院内分館

その後、対応していきたい。

(2) 肉の処理施設の確保はできているのか。

答 今後の課題として考えていく。

(3) 今年度の電柵に対する助成金が不足し、来年度に回すという対応についてどう考える。

答 今後は、要望に応じて助成金が全額出るように対応していきたい。

問④ 農業用水路については、恵良川水域で改良工事をする場合は、国の全額予算となっているが、その他の地域も地元負担がないようにすべきでないか。

答 恵良川水域は、水源が日出生台であり、演習場との因果関係から演習場周辺障害防止対策事業により国費100%の負担で改修が行える。この適応外の流域において水路改修が必要な箇所が多数存在することは認識している。この流域については、事業量や事業費・緊急度を踏まえ、関係機関と調整しながら地元負担が軽減されるように進めていく。

問⑤ 宇佐市環境基本条例を踏まえ家庭から出る生活排水の対策として合併浄化槽の普及をどう考えているのか（えひめあい）。

答 環境基本条例に則り生活排水処理対策について、市報、ホームページ等による情報提供と啓発活動に積極的に取り組んでいく。

問① 宇佐市における漁業振興策とその取り組みについて。

(1) 宇佐漁業3年再生計画も最終年度を迎えるが、その検証について「計画の実施状況とその成果及び効果は」。

答 漁場耕耘や母貝放流、種苗放流の強化など、資源の維持回復や保護に努めているが、漁業環境の悪化により、経営の逼迫を招いている。長洲漁港は県主体で航路や泊地の浚渫を行っている。今後も漁業活動の円滑化に努める。

(2) 効果に基づく新たな課題と対策は。

答 漁獲量と放流量は長期的に分析、検証を行いながら放流は継続する。第2期宇佐管内漁業再生計画を策定し、行政として、積極的にパッ

漁業振興策と障害者支援の取り組みについて



林 寛（新流会）

クアップする。

問② 漁業活動の拠点となる漁港の現状と対策について。

(1) 3 漁港の課題とこれからの対策は。

答 長洲港については、漁船の航路や安全性は確保できている。高津港については、堆積土の除去を行い運行が可能な状況に復旧した。和間港については、事業採択にいくつかの課題がある。

(2) 市の管理港である2 漁港について問題点と、具体的な取り組みは。

答 高津・和間両漁港については、大規模な浚渫は充分認識している。補助事業の採択要件を踏まえ、今後県や県漁協と協議を重ね、第2期宇佐管内漁業再生計画に反映する。

問③ 宇佐市における障がい者支援



八幡駐車場トイレ

の取り組みについて。

(1) 公共施設内におけるトイレ内の「視覚障害者用音声情報案内装置」の更なる充実を。

答 障がい者の方が活動範囲を広める為の重要な装置である。今後は計画的に設置をしたい。

(2) 宇佐神宮内のトイレに設置は。

答 今後、宇佐神宮側に要請をしていきたい。八幡駐車場トイレには設置の方向で協議する。

(3) 障がい者雇用について市の取り組みは。

答 計画的な障がい者雇用に努める。

(4) 障がい者採用枠内で障がいの特性に応じた試験制度は取り組みないか。

答 障がいの種類や程度に区別せず、能力や適性を基準とする。



永松 郁（日新会）

2期目出馬について
是永市長の心情・考えを伺う

問① 是永市政について。

(1) 市長としてまもなく任期を終えるが、達成した果実と課題は。

答 生活基盤の整備、農商工連携による6次産業の推進や、行財政改革についても、一定の成果を収めることができた。課題については南海トラフ地震の備えなど、安心安全なまちづくりが急務などが、重要な課題と考えている。

(2) 2期目出馬について、是永市長の心情、考えを伺いたい。

答 先頭に立って市政執行の責任を果たしていきたいと考え、来春の市長選に立候補することを決意した。

問② 平成26年に、東九州道が開通する。どう宇佐市をアピールしていくのか。

答 ①情報発信の強化②受入れ体制の強化③観光資源の保護・保全と再発見・強化④人材・組織の強化の4本柱に沿って戦略を展開していく。

問③ 県道と気佐野線、中津高田線の拡幅の計画は。

答 重要な路線と認識しており、土木事務所に要望していく。

問④ 宇佐市の工業団地（用地）の確保はできているのか。

答 「新たな受け皿づくり」について慎重かつ、機を逸することのないように進めていく。

問⑤ 北馬城小の校舎が落成した。

地域開放スペース等がある、今後、校舎建設を行う上で計画するのか。

答 地域住民の声を反映して、時代のニーズに対応できる、校舎建設を推進していく。



北馬城小学校

問⑥ 小・中学校の不登校児童生徒数と原因・対策は。

答 平成23年度は48名、原因として、友人関係等様々な原因が考えられる。学校指導員を増員し、より細やかな指導を行っていく。

問⑦ 給食費の滞納問題と対策は。

答 若干の滞納はある。関係者と協議を行い、徴収に取り組む。

問⑧ 市内の中学生を市内の高校へ進学させる取組は。

答 体験入学に参加したり、高校に招き、生徒、保護者を対象に進路説明会等を行っている。

問⑨ 有害鳥獣による農作物の被害

が中山間地から、平坦地まで広がっている。対策等は。

答 重点的に捕獲対策・被害予防対策・集落対策を実施し、農林作物の被害軽減など有害鳥獣対策に、努めている。



辛島光司（照政会）

スポーツ推進計画の盲点と今後ホームページでの情報発信

問① スポーツ推進計画が3月中旬に策定される予定だが、10月にアンケート実施の必要性を指摘するまで、子どもたちのスポーツ別の競技人口など現状把握が全くと言っていいほど出来てなかった。このような状態で今まで、学童競技スポーツにおいてどのような協議が行われてきたのか。また、策定までに数回の協議が予定されているとのことだが、十分な議論が行われ、推進計画にしっかりと反映させることが出来るのか。

答 10月に指摘され、全小中学校で

アンケートを実施し、子どもたちのスポーツ状況を把握した。これからの策定委員会の中で、しっかりと反映できるように議論していく。

問②(1) 90日間健康チャレンジは、多くの自治会・団体・市民の方々が参加されていますが、施設利用等の優遇策などは考えているのか。

答 実施会場として、公共施設等の利用が必要となった場合には、施設の減免等を検討していく。

(2) 団体・個人とも「ウォーキング」に取り組む方が非常に多い。ウォーキングコースの環境整備など、スポーツ推進計画にもしっかりと反映させるべきだと思うが。

答 スポーツに関する意識調査においても「ウォーキング」「ジョギング」が上位にあり、スポーツ策定委員会において、具体的な取り組みの一つとして、協議していく。

問③ 市としての情報発信において、10月に発刊された「宇佐市暮らしの便利帳」は必要な情報がコンパクトにまとめられており、大変好評だと思う。今後ホームページとの連動は考えているのか。また、トイレ情報や食事情報など特定のテーマに沿ったマップ化は考えているのか。

答 便利帳については、1月を目処に電子書籍化を目指している。マップ化については、今年度設置予定の

「ホームページ向上委員会」において調査研究していきたい。



河野睦夫（両院クラブ）

「道の駅いんない」の現状と子育て施策について

問① 指定管理施設「道の駅いんない」の現状について。

(1) 来客者数及び売上状況は。

答 来客者数が8万3,271人で前年対比38%増、売上が8,133万円で46%の増となっている。

(2) 農産物生産者等との連携は。

答 農産物生産組合とは、その都度慎重に協議を重ねながら運営しており、視察研修や意見交換を行いながら品質向上に努めている。

(3) 事業計画に沿った運営が行われているか。

答 来客者数も当初の目標より38%増となっており、イベントなど地元と一体となった事業展開を行っている。特に「お見合いパーティー」は

好評で継続的に実施する予定である。



道の駅いんない

問② 障がい者(児)福祉について
(1) 放課後等デイサービスセンターの役割及び設置状況は。

答 発達支援や遊び、運動を通じて様々なプログラムを提供することで、日常生活における基本的な動作や集団活動への適応訓練を行うことを目的としており、市内に2事業所がある。

(2) 定員超過等により利用できない児童はいないのか。

答 デイサービスが利用できない場合は、日中一時預かり支援等を利用して頂いている。

問③ 子育て支援について。

(1) 予防接種(任意接種)の接種状況は。

答 ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンが40%程度で、子宮頸がん予防ワ

クチンが60%程度である。

(2) 接種費用の助成は今後継続していくのか。

答 今後も継続していく方向である。

(3) 子育て施策の啓発は。

答 「宇佐市子育てガイドブック」「健康カレンダー」（全戸配布）及びホームページで広報、啓発している。

(4) 今後、新たな取り組みは。

答 本年実施した「子育てアンケート」の結果をもとに、子育て支援策の充実に努めたい。



後藤 竜也（忠政会）

平和ミュージアム構想、柳ヶ浦駅、子育て、災害対策に関して

問① 平和ミュージアム構想に関して。

(1) どのようなコンセプト（概念）で進めるかが重要である。市の考えを問う。

答 現在、戦争資料の収集、遺跡の

保存に努めている。コンセプトは検討委員会に於いて審議を行う。

(2) 具体化した折の検討（実行）委員会の委員の選定はどうするか。

答 大刀洗平和記念館等、先進施設を参考にし、検討する。



柳ヶ浦駅前ロータリー

問② 宇佐市の玄関駅・柳ヶ浦駅に関して。

(1) 現在、駅前ロータリーに駐車制限がかかっており不便だと苦情が出ている。改善を。

答 駐停車が通行の邪魔になるとの苦情もあり、苦慮している。出迎え等でも、極力、市営駐車場（30分以内無料）を利用願いたい。将来の駅前ロータリー再整備まで抜本的解決は難しい。

(2) 県道整備に合わせ、玄関駅として相応しい駅前ロータリーにすべく

整備すべきだが。

答 県道整備と合わせ都市計画道路江須賀小松橋線の事業化が決定し、来年度から着手するので、まず路線整備を優先し、一定程度進んだ時点でロータリー整備に着手する。

(3) 将来、駅舎建て替えの際には地上駅でなく橋上駅とし、北口、南口両側の利用を可能とすべきである。同時に、アクセス面や歴史的要因から、平和ミュージアムを駅南側に隣接させることが理想と考えるが。

答 現在のところ具体的構想は無いが、機運が高まれば、JRと協議する。平和ミュージアムの併設に関しては、検討委員会で議論頂く。

問③ 子育て、保育に関して

うさっ子サポートセンターのより多くの登録、利用促進を図る為、利用お試し券を発行してはどうか。

答 お試し券発行は考えていないが休日保育との差額を市が補助する方向で検討する。

問④ 災害対策に関して

市は、自主防災組織のリーダーとなる防災士を養成しようとしているが、災害時、防災士への万が一の際の補償は検討しているか。

答 防災士対象の補償制度は無いが消防団員等公務災害補償制度は消防協力者を対象としているので、要件を満たせば適用対象となる。



加来 栄一（日新会）

市報の配布と宇佐市の教育について

問① 市報などの配布について。

(1) 実際に配布されている数を調査する必要があるのでは。

答 居住していない家庭が有り世帯数と一致していない場合がある。

(2) 自治委員の引き継ぎの時の連絡不足では。

答 自治会と連絡を徹底し部数の把握に努める。

問② 高齢者医療について。

(1) 市に申請されている有料老人ホームで指定事業所以外の施設数は。

答 開設済が15施設576床、開設予定が2施設37床で計17施設613床ある。

問③ 宇佐市でのお茶の生産について。

(1) 茶園の造成予定地と規模、生産目標は。

答 安心院のブドウ団地の未利用地45haを整備、生産目標は10ha当り生葉で2t、売上収入で42万円を見込んでいる。

(2) 加工場の計画は有るか。

答 現在は杵築市の他工場で行っている。50ha規模となれば市内に整備する。

(3) 機械や設備に対する補助金はどのくらい有るか。

答 茶産地支援交付金などで生産者は50%以下の負担で事業実施が出来る。



元ぶどう団地を利用した茶園
(安心院町有徳原)

問④ 高齢者で免許を返納した人にタクシー割引券を。

答 自主返納者には店舗での割引をしているが調査研究をしていきたい。

問⑤ 宇佐市の教育について。

(1) 複式学級が増えているが教師の配置は十分か。

答 24年度は7小学校で12学級の複

式学級となったが市費負担の臨時講師を配置して指導する。

(2) 11月1日は古典の日だが、何か取り組んだか。

答 伝統的な言語文化を小学校低学年から取り上げ学校ごとに独自の取り組みを行っている。

(3) 学校に通ずる案内板に古里の先人の言葉や格言を入れては。

答 子どもの教育環境の視点や学校を地域の拠点とする意味でも意義が有るものと思っている。

(4) 学校の先生は忙しいとよく言うが何が原因だと思うか。

答 児童生徒が学校に居る時間は休憩・休息の時間が取れにくい状況で又、教材研究や授業の準備、部活の指導、PTA行事や夜間の打合せの為などと理解している。



衛藤義弘 (公明党)

「孤立死」を防ぐ対策と子ども・子育て3法成立を受け早急な対応を

問① ひとり住まい世帯の対策について。

(1) 当市でも孤立死の事例が発生している。防止策があれば。

答 緊急通報装置の利用拡大やひとり暮らし高齢者安心ネットワークで構築された見守り体制を各圏域に広げ安全安心に繋げたい。

(2) 平成23年の1年間で13件、24年10月末現在で12件の孤立死が発生している。ひとり暮らし全世帯の対策として、消防署に直接つながるボタン式システムの方法は。

答 消防署の人員確保や誤操作があるなど問題が多い。

問② 子ども医療費無料化対象拡大について。

(1) 市が負担する助成額は。

答 未就学児に対する助成額は6,887万円、小中学生の入院治療費助成額は490万円となっている。

(2) 各市町村ごとに助成対象が異なるが対象を決めた理由は。

答 県の子ども医療費助成事業を活用して、対象枠によって対応。

(3) 子ども医療費の小学校6年生までの通院費の無料化対象拡大を。

答 多大な財源と安易な医療受診につながる懸念がある。県の子ども医療費助成事業費補助金の対象見直しを注視したい。

(4) 県内にも対象を超える独自助成

を行っている市町村がある。子育て環境の充実のため市独自の助成を行っている。

答 財源がかなりかかる。県の補助金を利用して助成ができればと考える。

問③ 子育て環境の整備について。

(1) 子ども・子育て関連3法が成立した。子育て家庭のニーズを把握し来年度から子育て当事者等をメンバーとする合議制機関(地方版子ども子育て会議)を新たに設置することが必要だが。

答 今後、国や県の動向を注視し、法の定めるところにより適切に対応していく。

(2) 平成25年度予算において事業計画策定に向けたニーズ調査のための経費を計上する必要がある。

答 ニーズ調査は、子育ての実態や保護者の思いを的確に把握し、事業計画に反映する上で重要。県等から示される策定スケジュールに基づき迅速に対処したい。



市民の声

昨年11月末、約138億9800万円、この巨額な金額は一昨年の被害総額127億1900万円を突破しました。最近の典型的な手口は、警察官や銀行員や協会職員などを装い「あなたの口座が犯罪に使われた。暗証番号を変更しないといけないので番号を教えてほしい。キャッシュカードを取りに行きます」と。暗証番号を聞き出しカードをだまし取る「受取型」の手口である。しかし、警察官や銀行関係者が暗証番号を聞くことは絶対にありえない。間違いなく詐欺であることを知っておきたいものである。一方、振り込め詐欺ではないが、未公開株や外国通貨などの金融商品の購入を持ち掛け、金をだまし取る金融商品等取引詐欺などの特殊詐欺被害も激増、被害額は11月末で約176億5500万円と、一昨年同期の3倍に上っている。詐欺の被害者の大半が、お年寄であると言う。決して一人で判断しないよう。お互いに連絡を取り合い生きて行きたいものである。

会社役員 奥村文昭

10月臨時会

10月臨時会を10月30日に開催し、前回緊急に対応した災害復旧予算で捕捉できなかった河川災害の復旧に要する経費などを計上する議第102号宇佐市一般会計補正予算（第4号）及び尾永井工業団地用地を取得する議第103号不動産の取得についての2議案が提案され、原案のとおり可決しました。

12月定例会

平成24年12月定例会を11月30日から12月20日までの21日間の会期で開催しました。

初日に、平成23年度宇佐市一般会計歳入歳出決算・各特別会計歳入歳出決算、合計9議案を認定しました。上程された議案は追加を含め19件で、すべてを原案のとおり可決・承認・同意しました。

また、今定例会に提出されました請願2件のうち1件を採択。また継続審査の請願1件を不採択。そのほか議員提出議案2件を可決しました。

委員の選任

《固定資産評価審査委員会委員》

かとうともひこ
加藤智彦氏（安心院町且尾）

常任委員会視察研修報告

文教福祉常任委員会

去る10月23日に兵庫県相生市・10月24日に長野県佐久市を訪問し、相生市では給食費無料化及び教育特区について、佐久市では健康長寿のまちづくりについて研修を行いました。

建設環境常任委員会

去る10月23日に滋賀県東近江市・10月24日に奈良県橿原市を訪問し、東近江市では市民共同発電所設置事業について、橿原市では街なみ環境整備事業について研修を行いました。



建設環境常任委員会が
橿原市の現地視察をしている様子

編集後記



明けましておめでとうございませう。元旦に皆さんも今年こそはと希望や目標を心に決められてスタートされた事と思います。誰もが安心して安全で笑いの有る世の中にと願っている所ですが、最近地球温暖化による影響か大雪や豪雨、地震や津波など予想のつかない天災が多くなった気がします。研修で10月に一年振りに気仙沼へ行きました。被災地は一年前と全く変わってなく復興が少しも進んでなく建物の基礎とコンベニがあるだけでした。放射能の高い地域はなおひどく昨日まで生活していた状態の中、街に人がまったくいない現実を見た時に、こんな事に成るのかと声も出ませんでした。いつ誰がこの様な事に成るか解らない世の中です。他人事と思わず少しでも手助けになる事を考えるべきだと思います。新しい政権の実行力が試される事に成ります。あと一つは景気の回復と雇用ですが、卒業した若者が就職で悩んでいます。私が若者に言いたい事は昔の様に早く親ばなれ、子ばなれをして家を出て自分で自立して一人で生きてゆくのと言う気持ちを持ち、失敗を恐れなくて欲しいと言う事です。

加来栄一